



平成 29 年度

予算のお知らせ

健康保険平成29年度予算

(単位：百万円)

平成 29 年 2 月 15 日開催の組合会において、当健康保険組合の平成 29 年度予算が可決されました。今年度は、介護納付金を含む各種納付金への制度変更を見込んだ予算編成を行いました。

経常収入	金額	経常支出	金額
保険料収入	8,906	事務費	147
その他	13	保険給付費	4,456
		納付金	4,468
		保健事業費	886
		その他	12
合計	8,919	合計	9,969
経常収支			▲ 1,050

一般勘定

おもな収入

●保険料収入

健康保険組合の収入のほとんどは、皆さまからの保険料です。今年度は、前年度比ほぼ横ばいの89.2億円を予定しています。

経常収支

平成 29 年度の一般勘定の経常収支は 10.5 億円の赤字予算となりました。別途積立金からの補てんにより当面は保険料率を変更する必要はないと思われますが、今後とも適切な受診をお願い致します。

おもな支出

●保険給付費

お医者さんにかかったときの窓口自己負担（1～3割）以外の医療費は、保険給付費として健保組合が負担しています。また、出産や傷病時の各種手当金なども保険給付費に含まれます。前年度比若干増の44.6億円を計上しました。

●保健事業費

皆さまの健康づくりを推進するための費用として8.9億円を見込みました。具体的には人間ドックや平成27年からスタートしたデータヘルス計画の費用が含まれます。平成29年度は第二期（平成30年度～平成34年度の5ヵ年計画）の計画策定期です。事業主と連携を図りながら、効果的な保健事業を計画したいと思います。

●各種納付金

平成29年度は、後期高齢者医療制度への支援金が総報酬割に完全移行する年になります。その結果、前期高齢者納付金及び後期高齢者支援金の合計額は44.7億円となる見込みです。保険給付費以上の負担が求められることとなります。

介護勘定

介護勘定も、介護納付金の総報酬割への制度変更が始まることにより 2 億円弱の赤字予算となりました。平成 30 年度にはさらに負担が増すため、保険料率の変更が必要となる可能性があります。